

# ピカチュウランナー

—いろいろな考え方があることを知る—

- 1 学年 第8学年〔後期〕
- 2 主題名 謙虚に他者から学ぶ〔2－(5)〕
- 3 ねらい  
自分とは別の価値観をもってハーフマラソンに参加しているあるコスチュームランナーとの出会いを通して、寛容の心を持ち、謙虚に学ぶことを大切にする心情を育てる。
- 4 資料名 「ピカチュウランナー」
- 5 展開

	学習活動と主な発問	生徒の反応	指導上の留意点
導入	1 写真を見て気付いたことを発表する。 ○ 扮装して走るランナーについてどう思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ はずかしくないのかなあ。</li> <li>・ ふざけている。</li> <li>・ 楽しそう。</li> </ul>	○ マラソン大会の様子やコスチュームランナーの写真を提示し、資料への興味付けを行う。
展開	2 資料「ピカチュウランナー」を読んで話し合う。 ○ 「私」はいろんな扮装をしたランナーを見てどんな気持ちだったのでしょうか。  ○ 足をくじいたとき「私」はどんな気持ちだったでしょう。  ◎ 3キロ地点で、ピカチュウランナーに話しかけられた後、「私」が驚き、猛烈に恥ずかしく思ったのはなぜでしょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ふざけている。</li> <li>・ 真面目に練習している人に失礼だと思う。</li> <li>・ 恥ずかしくないのだろうか。</li> <li>・ 真面目に練習してきたのに、ふざけた格好をした人たちに負けてたまるか。</li> <li>・ しまった。やばい。</li> <li>・ くそっ、コスチュームランナーの連中のせいだ。</li> <li>・ これ以上、走れないかもしれないと絶望的になった。</li> <li>・ ピカチュウに追い付かれるというあせりが出てきた。</li> <li>・ ピカチュウランナーの一部しか見ていなかったから。</li> <li>・ ピカチュウの格好をしているのには理由があったのに、見かけだけで判断していた自分が恥ずかしくなったから。</li> <li>・ 速く走ることより、けがをしている自分や応援してくれる人を大切にしながら走るという参加の仕方もあることに気付かされたから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「私」がこれらのランナーの何に腹をたてているのかも考えさせる。</li> <li>○ 悲壮なランナーを演じた理由を発問にしてもよい。</li> <li>○ 「『私』がピカチュウの格好をして走ることを目標の一つにしたのはなぜでしょう」と発問を行い、ねらいにせまることも考えられる。</li> </ul>
終末	3 教師の説話を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人を一部分だけ見たり自分の価値観だけで判断したりするのではなく、いろんな個性を認めていかなければならないなあ。</li> </ul>	

## 6 授業の概要

### (1) 主題について

私たちは、多くの場合、自分なりの角度や視点から物事を見ることが多い。そのため、物事の本質を見抜くことができない場合もある。そこで大切となるのは、開かれた心で他に対して謙虚に学んでいくことである。そして、そのように謙虚に他者から学ぶ姿勢を身に付けていけば、私たち人間は、中学生の時期だけではなく、生涯を通して、常に新しい出会いから様々なことを学び、自分を成長させていくきっかけとすることができる。本題材で、主人公をあえて中学生ではなく成人男性としたことには、そのような視点で本主題を捉えていくためでもある。

### (2) 自作資料活用のポイント

#### ア 実施の時期

資料の舞台となっている「呉とびしまマラソン大会」が開催される時期（2月～3月）に扱うとよい。近年のマラソンブームで大きな市民マラソンも各地で開催されており、それらの開催時期に合わせるのもよい。

#### イ コスチュームランナーについて

本題材で取り上げている、様々な仮装をして走るコスチュームランナーは、東京マラソン等の大きな大会では相当数いる。心ある仮装ランナーの間では、

- (ア) 自分たちが楽しむためではなく、大会を盛り上げ、観衆を楽しませるために走る。
- (イ) 他のランナーの邪魔になるような走り方はしない。
- (ウ) 必ず完走する。

といったことが大切にされている。そのような情報も、終末で紹介するとよい。

### (3) 指導過程の工夫

#### ア 導入の工夫

呉で開催される市民マラソン大会を提示し、興味付けを行うことで、資料の内容にスムーズにつながりたい。また、実際のコスチュームランナーの写真等も上手に活用したい。

#### イ 「私」の心情をしっかりと考えさせる

本資料では「私」の心情の変化についての描写を最小限におさえている。「私」の心情の流れを整理すると次のようになる。ハーフマラソンに向けての自分の努力への自負心→コスチュームランナーへの嫌悪感→途中のケガによるアクシデント→けがをして悲壮なランナーを演じる自分と、義足であることをかくし、けがをして走っている人を気づかい、応援してくれる人を大切にしながら走るピカチュウランナーの違いに気付いていく「私」の心情の変化を、丁寧に読み取らせたい。

#### 執筆者より

市民マラソン大会には、自分らしさを大切にしながら自分の目標に向けて一生懸命走る様々な年齢層のランナーが参加している。「世界に1つだけの花」という歌の「ナンバーワンにならなくてもいい、もともと特別なオンリーワン」という歌詞がそのまま当てはまる。本資料の関連項目として「個性の伸長」があげられる。展開での発問の工夫により、個性の伸長を主題として扱うこともできる。

(阿賀中学校 平田 洋一)